

久留米大学を受診した患者さんへ

「久留米大学病院渡航外来受診症例におけるワクチン完遂率（特にB型肝炎ワクチンについて）の検討」の研究に使用する試料について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料を使用します。

- 1) 期間：2007年1月から2013年12月
- 2) 受診科：海外旅行・ワクチン外来
- 3) 対象疾患名：渡航前ワクチン接種
- 4) 使用する試料：診療記録、電話アンケート

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

1) 研究組織：

所属：久留米大学 感染制御学講座

研究代表者：久留米大学 感染制御学講座 教授 渡邊 浩

研究分担者：

久留米大学 感染制御学講座

准教授 濱田 信之

講師 升永 憲治

助教 岩橋 潤

助教 八板 謙一郎

久留米大学病院 薬剤部

副主任 酒井 義朗

2) 研究の意義と目的： 当院でも2007年より渡航前外来を行い、ワクチン接種や健康リスクに関するコンサルテーションを行っています。しかし、ワクチンは数回の接種を必要とするものも多く、特にB型肝炎ワクチンについては3回接種することで免疫を獲得し、持続させることが可能とされます。しかし、渡航予定日の半年前に渡航外来にこられる方は珍しく、2回までの接種で渡航することとなります。我々は帰国後や一時帰国中での3回目の接種を推奨しており、他のクリニックでも同様ですが、完遂率を調べた報告は我々が探した限りではありません。

3) 研究の方法：後ろ向き研究（症例報告）、比較研究（完遂群 非完遂群）

4) 研究期間：平成 27 年 5 月倫理委員会承認後～平成 32 年 4 月

5) 上記の試料の使用を選定した理由：ワクチン接種の完遂率について調査し、今後のワクチン外来の普及に寄与するため。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：名前、イニシャル、住所、正確な入院の日付について記載はしません。

7) 研究成果の発表の方法：学会や論文形式で発表します。

8) その他：特記事項なし

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

久留米大学病院感染病学講座 助教 八板 謙一郎

研究番号 / 5035